

令和8年度 小平市立小平第十三小学校 学校評価計画表						
学校教育目標		21世紀をたくましく生きる子どもたちを育てることを目指し、以下の教育目標を設定する。 ◎自ら考え行動することも(重点目標)・仲良く助け合う子ども・明るく元気な子ども				
目指す学校像(ビジョン)						
【目指す学校像】		子どもが主役の学校～毎日、笑顔で登校し、笑顔で下校する学校～				
【目指す児童像】		自ら学び、かかわり、他と共に生きる子ども				
【目指す教員像】		自ら考え行動し、自己の向上を求め続けるとともに、自分も大切にする教職員				
前年度までの学校経営上の成果と課題						
【成果】人間関係形成力の育成を目指した特別活動の取組等により、自分の考えを大切にしたり、発信したりできるようになった児童が増加することで、学級・学校での仲間意識が醸成されてきている。						
【課題】児童が、学習をできた・わかった・楽しいと感じる授業の実現と基礎的・基本的な学力の定着とすべての児童が安心して過ごせる居場所としての学校づくりを推進する。						
学力向上	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	取組指標		成果指標
	基礎的・基本的な内容の確実な定着を図るとともに、一人一人の可能性を最大限に引き出す「学習の個性化」を図る。	各学年の発達の段階に応じた授業の工夫をし、「できた・わかった・楽しい授業」の実現を目指す。	①挨拶や言葉遣いなど授業規律の確立 ②児童が相互に学び合い高め合う授業の日常的な実践 ③ノート指導を大切にし、書くことに抵抗のない児童の育成	4	教職員の取組評価(1～4)の平均で、3. 5ポイント以上	4 児童アンケートで肯定的評価80%以上
		地域や家庭の協力を得ながら日々の授業を充実させ、基礎的・基本的な内容の定着と徹底を図る。	①学習補助員や地域人材の活用と個別指導 ②東京ベーシック・ドリルや学習アプリの活用 ③習熟度別によるきめ細かい算数科の指導 ④家庭学習の実施と充実(低学年30分高学年10分×学年)	3	教職員の取組評価(1～4)の平均で、3ポイント以上3. 5ポイント未満	3 児童アンケートで肯定的評価70%以上80%未満
			2	教職員の取組評価(1～4)の平均で、2. 5ポイント以上3ポイント未満	2 児童アンケートで肯定的評価60%以上70%未満	
1	教職員の取組評価(1～4)の平均で、2. 5ポイント未満		1 児童アンケートで肯定的評価60%未満			
健全育成(いじめ防止)	すべての児童にとって安心して過ごせる居場所としての学校づくりを推進する。	いじめの未然防止と早期発見・早期対応に取り組み、根絶を図る。	①ふれあいアンケートの実施と分析 ②いじめ防止にかかわる道徳授業の実施(年3回以上) ③特別活動を中心としたよりよい人間関係形成を重視した活動の充実 ④いじめ防止校内委員会の充実	4	教職員の取組評価(1～4)の平均で、3. 5ポイント以上	4 いじめの解決率100%
		学校は集団の場ということを認識させ、他者との関わり合いを重視した指導に取り組むとともに、その様子を学級だよりやホームページを使って発信し、啓発を図る。	⑤生活のきまりの活用 ⑥あいさつ運動の実施 ⑦サポート会議の活用 ⑧委員会・クラブ・たてわり班活動の充実 ⑨全教員による学校ホームページの更新	3	教職員の取組評価(1～4)の平均で、3ポイント以上3. 5ポイント未満	3 いじめの解決率90%以上100%未満
			2	教職員の取組評価(1～4)の平均で、2. 5ポイント以上3ポイント未満	2 いじめの解決率80%以上90%未満	
			1	教職員の取組評価(1～4)の平均で、2. 5ポイント未満	1 いじめの解決率80%未満	
体力の向上	体力の向上と健康の保持増進と取り組むことで、生涯にわたり自分を大切にする意識の醸成を図る。	芝生の校庭での活動等を充実させ、「運動好きの子ども」の育成を図る。	①休み時間の校庭での活動計画 ②学期ごとの体づくり、なわとびやマラソンによる体力向上の取組の充実 ③運動会の実施に向けた取組の充実 ④体力テストの結果を基にした指導の工夫・改善	4	教職員の取組評価(1～4)の平均で、3. 5ポイント以上	4 児童のアンケート調査「体力向上」の項目で肯定的回答率90%
		健康・食育にかかわる指導を日常的に行うとともに、家庭と連携して健康保持増進に向けた意識を高める啓発を行う。	①様々な感染症への理解と予防の徹底 ②「早起き、早寝、朝ご飯」の啓発活動 ③基本的な生活習慣の確立 ④栄養士と学級担任による食育の授業	3	教職員の取組評価(1～4)の平均で、3ポイント以上3. 5ポイント未満	3 児童のアンケート調査「体力向上」の項目で肯定的回答率80%以上
			2	教職員の取組評価(1～4)の平均で、2. 5ポイント以上3ポイント未満	2 児童のアンケート調査「体力向上」の項目で肯定的回答率70%以上	
			1	教職員の取組評価(1～4)の平均で、2. 5ポイント未満	1 児童のアンケート調査「体力向上」の項目で肯定的回答率70%未満	
特別支援教育	一人一人の児童のよさを伸ばし、個に応じた指導及び特別支援教育を推進する。	特別支援教育コーディネーターを中核として校内委員会の充実を図り、他の教員、機関等との組織的な対応を推進する。	①特別支援教育の理解・啓発 ②特別支援教室の効果的運営□ ③特別支援巡回指導の活用□ ④個別指導計画の作成と活用□ ⑤特別支援校内委員会の効果的な運営□	4	教職員の取組評価(1～4)の平均で、3. 5ポイント以上	4 保護者のアンケート調査「特別支援」の項目で学校の取組に対する肯定的回答率80%未満
		ユニバーサルデザインの考え方に基づく教室環境の整備と、指導の充実を図ることで、一人一人を大切にしたい指導を充実させる。	⑥こげら支援シートの活用□ ⑦児童一人一人の正確な見取り□ ⑧「こだいらこれだけは」に基づく環境の整備(ホワイトボードの活用、教室前面の掲示板等)□	3	教職員の取組評価(1～4)の平均で、3ポイント以上3. 5ポイント未満	3 保護者のアンケート調査「特別支援」の項目で学校の取組に対する肯定的回答率70%未満
			2	教職員の取組評価(1～4)の平均で、2. 5ポイント以上3ポイント未満	2 保護者のアンケート調査「特別支援」の項目で学校の取組に対する肯定的回答率60%未満	
			1	教職員の取組評価(1～4)の平均で、2. 5ポイント未満	1 保護者のアンケート調査「特別支援」の項目で学校の取組に対する肯定的回答率50%未満	
ライフ・バランス	働き方を見直し、ライフ・ワーク・バランスのとれた健康的な教職員集団を目指す。	副担任、一部教科担任制にすることで、学年内の分掌負担を減らし、教員自らが校務遂行の効率化を図り、児童の悩みや相談に対応する時間を採れるようにする。	①教科担任制の導入、副担任の活用 ②C4thの積極的な活用 ③月4回の各自の定時退勤日の設定 ④教員の年次有給休暇の15日以上取得 ⑤教員の残業時間月平均45時間以内 ⑥管理職の積極的な休暇取得 ⑦スクール・サポート・スタッフの計画的・積極的な活用	4	教職員の取組評価(1～4)の平均で、3. 5ポイント以上	4 教職員アンケートで肯定的評価80%以上
		スクール・サポート・スタッフの活用や会議の精選を通して、教職員個人の時間的精神的なゆとりを生み出す。	⑧働き方改革に向けた、教員自らの目標設定と実践。	3	教職員の取組評価(1～4)の平均で、3ポイント以上3. 5ポイント未満	3 教職員アンケートで肯定的評価70%以上80%未満
			2	教職員の取組評価(1～4)の平均で、2. 5ポイント以上3ポイント未満	2 教職員アンケートで肯定的評価60%以上70%未満	
			1	教職員の取組評価(1～4)の平均で、2. 5ポイント未満	1 教職員アンケートで肯定的評価60%未満	
				4	月の時間外勤務時間が45時間以下の教職員100%	4 月の時間外勤務時間が45時間以下の教職員100%
				3	月の時間外勤務時間が45時間以下の教職員80%以上100%未満	3 月の時間外勤務時間が45時間以下の教職員80%以上100%未満
				2	月の時間外勤務時間が45時間以下の教職員70%以上80%未満	2 月の時間外勤務時間が45時間以下の教職員70%以上80%未満
				1	月の時間外勤務時間が45時間以下の教職員70%未満	1 月の時間外勤務時間が45時間以下の教職員70%未満